

## 全日本スノーモビル選手権 郷選手が総合3位

### トップライダーと激戦

国内最高峰の選手たちが争う全日本スノーモビル選手権スーパークラスで、今シーズン同クラスに昇格したばかりのルーキー、郷瞬希選手が2017シーズン総合3位と躍進しました。

全5戦のうち4戦を終えた時点でランキングトップにつけた郷選手は、青森県での最終戦で総合優勝をかけて国内トップクラスのライダーたちと熱戦を繰り広げました。

郷選手は「本州はコースが狭く、雪質が北海道とは違うので苦手」と話していましたが、ヒート1、ヒート2ともに思うように順位を上げることができず、惜しくもルーキーイヤーでチャンピオン獲得とはなりませんでした。



↑写真はレース中の郷選手



### 来季こそチャンピオンに

3月までは高校生ライダーとして学業と両立してきた郷選手。4月からは道立高等技術専門学院に通い、機械整備を学びながらレースに活かしていきたいとのこと。

「来季の目標はもちろんチャンピオン」

今シーズンの手応えと悔しさを胸に、来季に向けて新たなスタートを切りました。

←写真は愛車の整備をしている郷選手

### Ke-go. RacingはMFJの最大勢力

郷選手が所属するチーム「Ke-go. Racing (ケーゴレーシング)」は、会長の郷敦司さん、監督の郷和幸さんをはじめ約30名が所属し、チャンピオン経験者が5名もいる国内で最も大きなチームです。

道内では士別市でもレースがありますので、各選手の今後の活躍に期待しましょう。

## 和寒産黒米焼酎「寒紫（かんのむらさき）」が商品化

くまさんの愛称で親しまれる大川孝義さんが、自ら栽培している黒米「きたのむらさき」を使った焼酎を作りました。

商品名は和寒の「寒」と品種名の「紫」をとって名付けられ、黒米の甘い香りが特徴。



焼酎をふるまう大川さん

大川さんは「和寒のお土産として使ってもらえたら」と話しています。

酒類販売免許を取得した大川さんは、自宅前に「寒紫屋」を構えて販売しています。



お米の甘い香りが特徴の「寒紫」は、熱燗にするとより香りを楽しむことができます。

(1本720mlで税込2,700円)